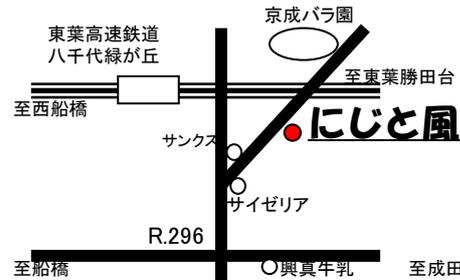


にじと風だより

発行 特定非営利活動法人にじと風福祉会
〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田453-126
TEL 047-480-0801 FAX 047-480-0807
発行人 吉野眞里子/yosino@asahi-net.email.ne.jp



もうすぐ立春

穏やかなお正月が迎えられて幸せな年明けでした。庭の早咲きの水仙が蕾を膨らませています。去年は暑すぎる夏が長く、しかも秋を楽しむ間もなく冬がやってきました。雪が待ち遠しいですね。昨年中は、お世話になりました。今年も又、変わらずご支援賜りますようお願い致します。

毎年同じですが、やはり今年も、健康で楽しい嬉しい事が沢山ありますようにと心から願ってしまいます。

昨年8月に急遽開所した「にじと風キッズ」は大人も子どももちょっと特別な場所としても楽しそうに遊んでいます。炉を切っただけのお茶室があります！体調の悪い子も、ゆっくり過ごせるお部屋があります。にじ風に来る時から今日は具合が悪いと自宅から絵本とおもちゃを持ってきて、「〇〇さんいこー」と目を盗んで交渉している子がいます。成功率は50%以下ですが・・・。にじと風キッズは本当は増え続ける利用者をお断りしなくてもよいように少しずつ無理をして借りました。子ども全体の人口は増えていないのにどうして増加しているのか判断できません。

昨年もいろんなことがありましたが嬉しかった事

- ①利用者子どもたちがなんだかとても楽しそうに過ごせた
- ②職員が研修に行ける機会が増えたこと。
- ③車両事故が1回もなかった事無駄な経費が係らなかった

昨年のにじと風の目標は

- ①医療的重篤な介護が必要でも放課後遊べる体制確立
市内の事業所のご協力で体制がなんとか整いました
- ②重心の子ども入所できる施設づくりの検討を始める
- ③にじと風にいる子が卒業後の働く場を作る。

本当にうれしいことにとっても言葉では言えない位ご支援を頂き、今年春には・・・。

昨年秋にとっても消化しきれない大きな事件が千葉県内でありました。信頼している施設でもあり普段からあそこに行ければこの子は大丈夫と保護者の方にもお伝えしていた施設です。にじと風にいた子ども最後の場所として入所しています。心配で仕方ないのは日常の中で怖れや不安を感じていても伝えるすべなく内に込めるしかない子の長い間の心の傷を共感し軽減していける大人が現在いて下さるのかなということのみです。私たち大人はプロとして自分のした事を認め反省し責任を取り改善すればよいしその力があるはずですもの

映画上映会を開催いたします。

「世界一すてきな僕たち私たちへ」
日時 平成26年3月21日(金) 

1回目 10:00~12:30

2回目 13:00~14:30

場所 千葉市生涯学習センターメディアエッグ
JR千葉駅近く

主催 千葉放課後連

東京江東区の放課後活動をしている事業所での子ども達の生き生きしている様子や、それを支え共に悩み試行錯誤しながら一緒に楽しんで過ごしている様子が伝わります。放課後活動の関係者必見です。

福祉塾

以前は千葉県から補助金を頂いていました。補助金がなくなり3年間のブランクがありましたが何とか工面して思い切って再開いたしました。

1月25日(土) 講師 深山理学療法士
「身体の使い方と日常できる事」

2月15日(土) 講師 小菅さん
「スヌーズレンの活用とその効用」
スヌーズレンを実際に見ながら使いながらなぜなのか？
何のためなのか？

「ひよこ宣言」

施設「にじと風」の開所式の際に、「ひよこ宣言」をつくった当事者たち、保護者、関係者の思いを生命ある私たちが継続していきたいと思えます。

(1999.7.18)

1. ずうっとこの町で暮りたい
友だちと一緒にいろんなことをしたい
自分のことは自分で決めたい、自分でやりたい
でも、どうしても出来ないことは手伝って下さい
2. 今日ここに私たちの新しい場所が出来ました
私たちは、ここに閉じこもることなく
ここを基地として
新しい一歩を踏み出すことを宣言します

